

学生と教職員が 30キロ歩く“遠歩会”



崇城大学

崇城大学（熊本市西区）では伝統行事の一つとして、遠歩会（えんぽかい）が毎年開催されている。今年度で53回目の開催となり、夜の23時頃から朝まで約30kmの道のりを仲間と歩く。夜通し歩くことで、心身の鍛錬やチャレンジ精神を養う。また、交通量の少ない夜間は事故のリスクが低く、学生同士が会話をしながらより安全に歩くことも狙いだ。新型コロナウイルス感染症拡大等が原因で中止となった時期もあったが、伝統ある行事が続いていくよう努めていきたい。